

愛媛県神社庁報

愛媛県神社庁／愛媛県東温市南方一九五四番地二 TEL〇八九・九六六・六六四〇
発行人代表／三輪田 泰生 <http://ehime-jinjacho.jp> 題字／三輪田 泰生

特別対談企画 憲法改正に向けて

愛媛県議会自民党神道政治議員連盟 会長 明比 昭治
神道政治連盟愛媛県本部 本部長 長曾我部 昭一郎



—今日は宜しくお願い致します。現在、新型コロナウィルスが大変な広がりを見せていますが、県議会においても対応・対策でお忙しい最中だと思えます。昨日は新型インフルエンザ対策特別措置法改正案が閣議決定されました(※対談日三月十一日)。

明比 そうですね。今新型コロナウィルスで大変な状態に

なっていますが、日本だけでなく世界中でパンデミック、パニックになっている。日本も世界と連携して責任ある行動をとることが必要ですが、そのためには後ろ盾となる法律をしっかりと整備することが重要です。過去の災害時でもそうでしたが、非常時、緊急時においては指揮命令系統をはっきりさせるといいうことが何より大切です。

長曾我部 奇しくも今日は三月十一日。東日本大震災からちょうど九年となりましたが、当時も憲法上の制約でいくつもの困難がありました。今回の新型コロナウィルスによる

目次

(1) 特別対談企画
憲法改正に向けて

愛媛県議会自民党
神道政治議員連盟 会長
明比 昭治
神道政治連盟愛媛県本部
本部長
長曾我部 昭一郎

(5) 水天宮

鉄道が通じた町「二〇年
「坊っちゃん列車」の
延伸と横河原」
水天宮(東温市) 宮司
和田 久幸

(8) 神社庁行事報告

辞令・委嘱
庁務日誌
神社庁行事予定
神社本庁行事予定
事務局・帰幽
東中南予通信欄
編集後記

別紙 今月の言葉

大変な状況を見ても、非常時対応の根幹となる緊急事態条項の制定など、憲法改正の必要性を改めて痛感します。

明比 そうですね。我々が一番心配するのは、大きな災害等で現地に加え、国の中枢が甚大な被害にあった場合、政府としてどう対応するのかという点です。今の状況では誰が指揮を取るのか明確でない。その命令指揮権の後ろ盾をしっかりと法律で明記する必要性が問われていると思いますし、緊急事態条項は憲法改正の重要なポイントの一つ。私はそのように認識しています。

― 東日本大震災をはじめ、その後の熊本地震、愛媛にも大きな被害をもたらした西日本豪雨でも自衛隊の活躍が大きかったわけですが、未だその存在も憲法に明記されていません。



あけひ しゅうし
明比 昭治

愛媛県議会自民党神道政治議員連盟 会長
愛媛県議会議員

昭和23年1月19日生まれ。昭和50年に27歳で西条市議会議員に初当選。平成11年4月からは愛媛県議会議員となり現在6期目。平成23年に自民党神道政治議員連盟 副会長に就任し、同25年からは会長を務める。今年2月からは自民党愛媛県支部連合会の総務会長も務める。

長曾我部

私は東日本大震災で発生から数日後に現地に入りましたが、驚いたのはもう道路がきれいだっただけです。間違いなく自衛隊の力だったと思います。現場で人命救助に加え、瓦礫の撤去から物資の輸送、入浴支援、医療支援等裏方の支援まで黙々と行ってくれました。

西日本豪雨の三日後に現地に入った時もそうでした。自衛隊の必要性や憲法に明記す

ることの意義は、現地でそれを経験し、恩恵を受けた人はそのありがたさも感じていらっしゃると思います。しかし、そういう実感のない方にはまだまだ重要性が伝わっていないのを感じます。

明比 そう感じますね。東日本大震災では自衛隊による献身的で迅速な行動が多くの人を助けました。自衛隊の明記をはじめとする憲法改正については、自民党の党是であり、

私も自民党の県議会議員として働きかけを行い、一日も早く取り組めるように皆が努力していますが、なかなか国民的な議論の成熟に至ってないのが実情です。

長曾我部 自衛隊は災害時に国民を守ってくれるだけでなく、外国での邦人の保護や万が一の諸外国からの侵略から国を守るための必要な戦力だということも認識しなければなりません。戦争を起こすための軍隊ではなくて国を守るための軍隊なのです。自衛隊が戦力として必然として存在することを当たり前に感じなければいけません。恩恵がないと感じないところにもどうかしさを感じます。

明比 軍隊がなくて警察も刑務所もない世界が一番理想です。望ましいけど現実的には難しい。ではその現実の中でどうやって社会を安定させていくか。諸外国との平和関係



長曾我部 昭一郎

神道政治連盟愛媛県本部 本部長
伊豫豆比古命神社 宮司
昭和47年、松山市生まれ。國學院大學文学部神道
学科卒業後、平成6年に明治神宮に奉職。平成11
年には伊豫豆比古命神社 権宮司を拝命。平成28年、
神道政治連盟愛媛県本部 本部長に就任（現職）。平
成29年より伊豫豆比古命神社 宮司。

を維持するには、おっしゃる
ように自衛隊が必要なのです。
それがあってお互い対等の対
話ができる。そのことを国民
一人一人に理解してもらう必
要がありますね。

―次にその国民についてお伺
いします。人口減少、婚姻率、
出生率の低下に歯止めがかか
りません。県内では二十年後
には松山市の若年の女性人口
が三十五％以上減少するとい

うデータもあります。憲法で
規定された家族のあり方自身
が問われています。

明比 少子化の問題、核家族
の問題、自民党でも県議会で
も議論しています。私が県議
会議員になったのは二十年前
でしたが、そのときによく
「百五十万県民のために」とい
う言葉を使っていました。し
かし今や百三十万人。一年に
一万人減っている。三十年経っ

たら百万人を切るでしょう。

現在、少子化の問題は何を
はかりに語られているかとい
うと「経済」。生活できるかど
うか。今だけを見てこの問題
をとらえてはダメだと強
く感じています。

長曾我部 同感です。憲法第
二十四条には「婚姻は両性の
合意のみによる」とあります
が、少子化の問題はこの個人
主義化された価値観が一般化
し、家族制度が崩壊していっ
たことが大きいと感じます。

神社奉仕を奉仕していても
ここ数年、仲人さん、媒酌人
さんを見ていません。正月の
参拜でも、家内安全の祈願が
減って、個人の厄祓い、個人
の金運祈願などが大幅に増え
ています。個人の願望、刹那
的な部分が世の中に一般化し
すぎているのを感じます。

家族コミュニティの再構築
のためにも、この二十四条を
日本人らしさ、家族のあり方

を古き良き時代の家族像を取
り戻すような内容にしなけれ
ばならないと思います。

―憲法改正の自民党草案では、
「家族は、社会の自然かつ基礎
的な単位として、尊重される。
家族は、互いに助け合わなけ
ればならない」とあります。

明比 はい。社会で一番大事
なのは、政治の前に倫理観で
す。家族で助け合い、地域で
支え合うそういった社会であ
るべきです。まず自分がなぜ
存在するのかを意識しながら、
先祖や家族、地域というもの
を自然にとらえられる社会で
あってほしいと思います。

長曾我部 家族や地域コミュ
ニティが希薄になっていく。
そのことで結局生活が困窮す
ると、すぐに生活保護や政府
や地方自治体に頼ってしまう。
人の根本的なコミュニティは
家族ですから、そこをしっかりと



14時46分、東日本大震災の犠牲者に1分間の黙祷が捧げられた

り見直せば、家族や地域での支え合いが戻り、やがては貧困や孤独死の問題の解消にもつながっていくと思います。

我々神職は「絆」というものを大切にしてきました。その意味でも家族条項を大事にしたいと考えています。家族のあり方については、神社界としても地域の氏子の皆様に対しての教化活動を行ってまいりますし、神政連としてもしっかりやりていきたいと思いま

す。ぜひ県議会の先生方にも力を入れていただければと思います。

一次に皇室制度についてですが、昨年御代替わりという大きな節目がありました。今年四月十九日には秋篠宮文仁親王が自らの立皇嗣を内外に宣明される立皇嗣の礼が行われます(※四月十四日、政府より延期が発表された)。

長曾我部 その後の問題を我々は注視しなければいけません。皇室典範特例法の附帯決議に関わる部分として、女性宮家の創設という話が再び上がってくるのではないかと危惧しています。日本は世界で唯一百二十六代まで父方でつながっている国です。君民ともにその伝統を守ってきて諸外国からも尊崇を受けてきたのです。

去る二月二十三日の天皇誕

生日に松山市で百地章先生にご講演いただいた時に、「戦後臣籍降下(しんせきこうか)された旧皇族の家に男系男子がいらっしゃる。伝統的で安定的な皇位継承のため、臣籍降下せざるをえなかった方達にお戻りいただくことも一つの方法」とおっしゃっていたことに大いに賛同いたしました。

明比 外国では基本的に長男長女、先に生まれた方が後を継ぐケースが多いようですが、

万世一系の天皇を戴いて継承している国は我が国だけではありません。そのことを国民一人一人が自覚するべきでしょう。昭和天皇の御代に旧皇族の方々がなぜ降下せざるを得なかったのか、もっと国民がそのことを認識、理解して皇室に対する尊厳を持って見直していく。そこをしっかりと理解し議論をしなければならぬと思います。

と

長曾我部 そう思います。旧皇族の方々が臣籍降下なされるときに、時の加藤進宮内庁次官から、恐らく昭和天皇のご意向を受けての言葉として「いざれお戻り頂く可能性もあるので誠に慎んでいただきたい」とあったわけです。そのことをもっと多くの方に知っていただくべきですし、そういうことがあったのだから戻っていただくことも選択肢だということをしっかり伝えていく必要があります。

明比 日本国憲法第一条は「天皇は」から始まります。日本の象徴であり、等しく国民が守ると書いてある、このことをもっと真剣に受け止め、どう守るかを考えていく必要があります。もっと素直に国民としてどうすべきか、どう守るか考えられるような国になれば、自ずとわかってくるのだと思います。

長曾我部 すべてを世界的ス

タンダードで解釈するのではなく、日本独自の文化・伝統がつながっているということを理解する必要がありますね。

神道政治連盟は、昭和四十四年の結成以降「世界に誇る日本の文化・伝統を正しく後世に伝えること」を活動目的としてきました。日本らしさを、日本人らしさが忘れられつつある現代に、戦後おろそかにされてきた精神的な価値の大切さを、神職として氏子崇敬者の皆様に対ししっかり伝えていきます。

今後も自民党神道政治議員連盟の皆様方と共に、国の威信や誇りを取り戻すための運動にしっかりと取り組んでいく所存です。

明比 こちらこそ宜しくお願います。現在も新型コロナウイルスで世界も我が国も国難に直面しています。国難はこれまで何度もありましたが。その国難を乗り越えてき

た力は何か。災害時に略奪など起こさずに互いに助け合う国民性と、何より陛下の祈りが大きな力になってきたことを我々は知っています。陛下は国民の心に寄り添いながら、国民の安寧と世界の平和のために尽くしたいとおっしゃっている。

国民はこのお心に向かい合いながら、自分がこの国を、地域を支えていくんだ、それが自分のため家族のためなのだという意識を一人一人が持ちながら乗り越えていかねばなりません。我々もそういう社会のために力を尽くしてまいります。

—共に手を携えて活動してこの国難を乗り越え、そして愛媛でも憲法改正の気運を高めていければと存じます。本日は誠にありがとうございます。
(司会 常磐井守道)

(撮影・記録 宮本勝弘)

水天宮 鉄道が通じた町 一二〇年

「坊っちゃん列車」の延伸と横河原



水天宮 (東温市) 宮司

和田 久幸

三津浜から松山までを走っていた坊っちゃん列車(伊予鉄道)が道後平野を縦断し、重信川上流、横河原(東温市)に到達したのは、明治三十二年(一八九九年)、今からちょうど一二〇年前のことである。自動車普及する以前に人とモノの運輸を担ったのが鉄道であった。その鉄道の到来が、わずか十数戸の寒村にどんな将来をもたらすかを想像しえた者はいなかったといわれる。始発駅となった横河原は鉄道の開通まもなく人の波が押し寄せ、居を構え、商



伊予鉄道の蒸気機関車

業、工業を発展させた。運送業、材木、金融業をはじめ昭